

国際級の医療クラスターへ

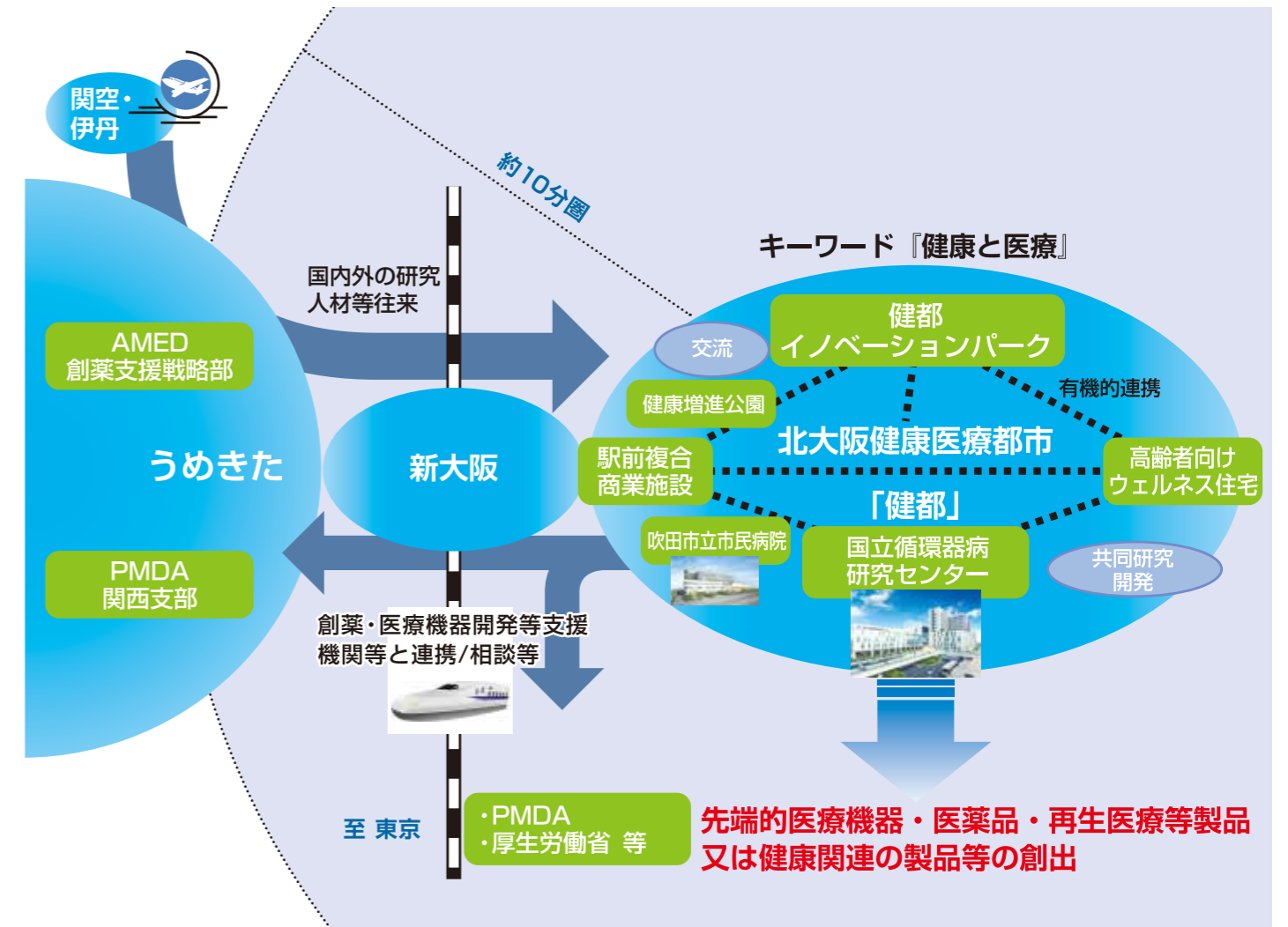
「北大阪健康医療都市 ～愛称：健都(けんと)～」いよいよ始動。

◆北大阪健康医療都市(健都)のまちづくり

北大阪健康医療都市では、国立研究開発法人国立循環器病研究センターや地方独立行政法人市立吹田市民病院の移転、医療研究機関・医療関連企業等の誘致を進めるなど、平成30年度(2018年度)を目標に、国際級の複合医療産業拠点の形成を目指しています。

今後、循環器病予防を中心として、健康寿命の延伸を目指した健康・医療のまちづくりを進め、各ゾーンにおける施設整備やそこで展開される事業は、「健康・医療」を中心とするコンセプトを共有し、互いに連携することにより、相乗的なプラス効果を生み、付加価値が高まる構造が構築されることを目指すものです。

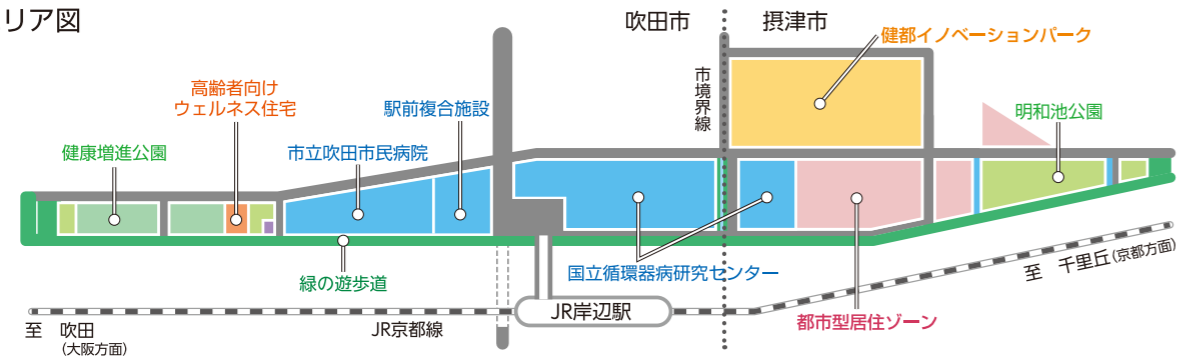
■健康・医療のまちづくり概念図



■施設立地イメージ



■ 健都エリア図



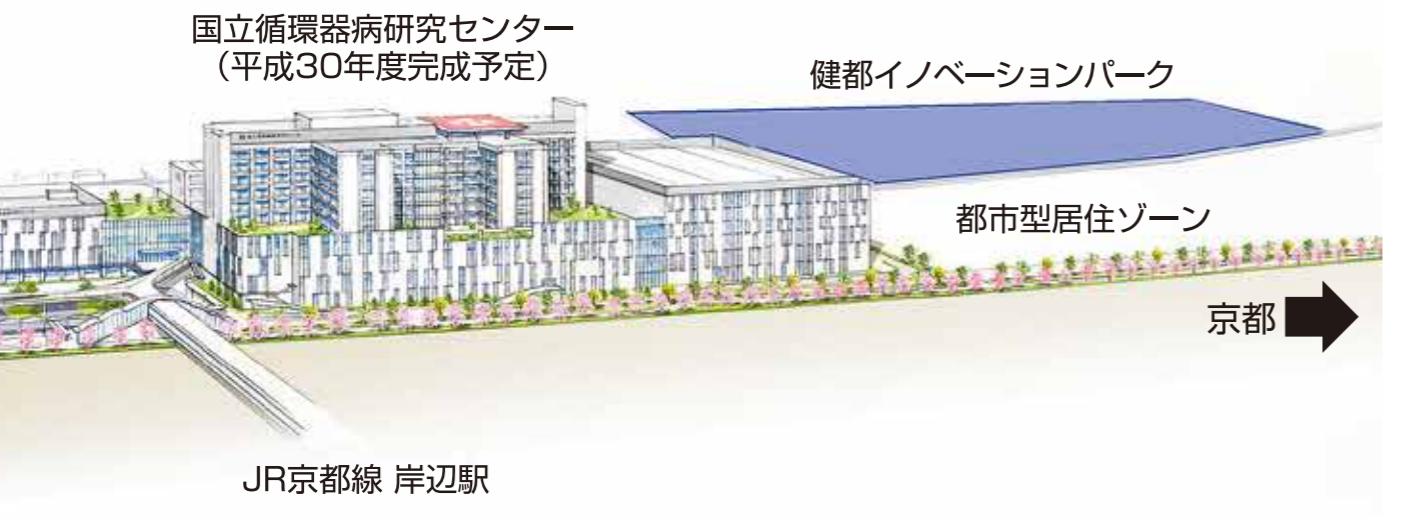
■ Access | 交通アクセス

関西各方面からスムーズアクセス

JR岸辺駅へは大阪方面から30分以内でアクセスできるほか、京都や神戸方面からもスムーズアクセス。北大阪健康医療都市は、大阪都心から10km圏内に位置するなど、北大阪地域の中でも立地ポテンシャルが高く、また既成市街地における貴重な都市空間として有効な都市利用が求められています。



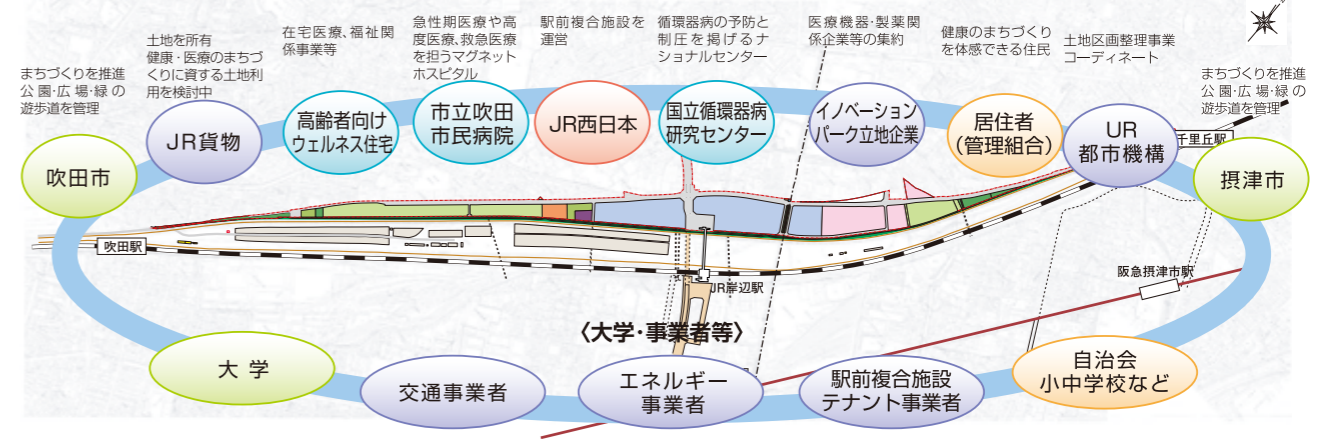
大阪エリアから	京都エリアから
<ul style="list-style-type: none"> ■大阪駅から約34分(約11.2km) ■名神高速道路、吹田ICから約17分(約5.4km) ■近畿自動車道、中国自動車道、吹田JCTから約19分(約6.1km) ■大阪空港から約30分(約16.4km：中国自動車道利用の場合) ■関西国際空港から約1時間22分(約72.6km：関西空港自動車道・阪神高速・堺泉北道路・阪和自動車道・近畿自動車道利用の場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ■京都駅から約54分(約37.6km：名神高速道路利用の場合)
神戸エリアから	滋賀エリアから
<ul style="list-style-type: none"> ■三ノ宮駅から約54分(約43.7km：阪神高速・名神高速道路利用の場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ■大津駅から約55分(約48.0km：名神高速道路利用の場合)



■ Area Management | エリアマネジメント

「健康・医療のまちづくり」の効果をさらに高めつつ、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるため、住民・事業主・地権者等の主体的な取り組みを継続していくことが重要です。このため、このような取り組みを行う多様な主体が参加するエリアマネジメントについて検討を進めています。

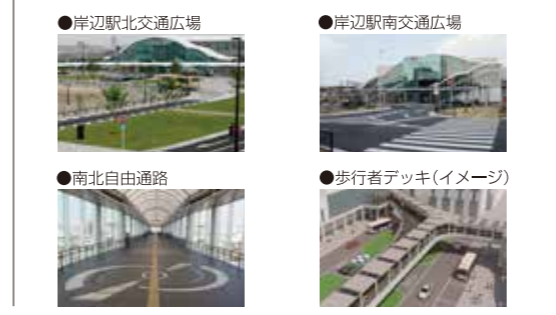
■ エリアマネジメント イメージ図



■ Development | まちを支える基盤整備

広域からのアクセスを高める交通結節機能

国土軸を形成するJR東海道線(京都線)に位置するJR岸辺駅は、平成24年(2012年)3月に駅舎機能を2階に集約、パリアフリー化した橋上駅となりました。また、同年4月には、鉄道や貨物駅をまたぐ「南北自由通路」や「岸辺駅北交通広場」が同時にオープンし、広域から健都へのアクセスが向上しました。さらに、これまでからあった岸辺駅南交通広場では、北広場との役割や機能を分担し、パリアフリー化された歩道や交通動線にリニューアルされ、南側からのアクセスも向上しています。



健康・医療のまちづくりを支える道路

健都の東西を貫く都市計画道路天道岸部線や千里丘中央線により各施設へスムーズにアクセスできます。また、健都へのアクセスを高める岸部中千里丘線や豊中岸部線(府施工)の整備が進められています。



市民や来街者が憩い、交流する公園・緑地等

緑の遊歩道と一体となった緑豊かな空間として、健都全体で緑とうるわしいネットワークを形成。また、公園には防災機能を兼ね備え、災害時にも活用。

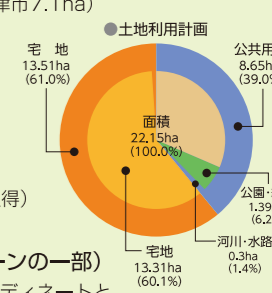


■ History | まちづくりプロジェクトのあゆみ

- 平成19年(2007年)11月 吹田操車場跡地地区(仮称)の整備に関する基本協定締結(大阪府、吹田市、摂津市、UR、鉄道・運輸機構、JR貨物)
- 平成20年(2008年)7月 道路、公園、土地区画整理事業の都市計画決定
- 平成21年(2009年)4月 土地区画整理事業の事業計画認可及び施行規程の認可
- 平成24年(2012年)4月 岸辺駅北交通広場、南北自由通路等供用開始
- 平成25年(2013年)3月 吹田貨物ターミナル駅開業
- 平成25年(2013年)6月 国立循環器病研究センターの移転決定
- 平成26年(2014年)5月 医療クラスター形成会議発足
- 平成26年(2014年)6月 健康・医療のまちづくり基本方針の策定(吹田市)
- 平成26年(2014年)6月 関西イノベーション国際戦略総合特区への区域追加承認
- 平成27年(2015年)3月 吹田操車場跡地まちづくり実行計画策定(吹田市)
- 平成27年(2015年)3月 吹田操車場跡地地区低炭素まちづくり計画策定(吹田市)
- 平成27年(2015年)7月 吹田イノベーションパーク(仮称)利用基本計画策定(吹田市)
- 平成27年(2015年)7月 正雀下水処理場跡地まちづくり基本計画策定(摂津市)
- 平成27年(2015年)7月 地区の名称を北大阪健康医療都市(愛称：健都)に決定(国循を核とした医療クラスター推進協議会)
- 平成27年(2015年)7月 土地区画整理事業完了
- 平成28年(2016年)3月 明和池公園開園、都市計画道路・緑の遊歩道全面供用

UR都市機構の3事業による総合的なまちづくり

- 土地区画整理事業(北部大阪都市計画事業吹田操車場跡地土地区画整理事業)**
道路・公園等の公共施設を整備改善し土地の区画を整え宅地の利用増進を図る事業
○施行面積：約22.1ha(吹田市15.0ha、摂津市7.1ha)
○事業期間：平成21年4月～平成28年3月
○事業費：約122億円
- 防災公園街区整備事業(明和池公園)**
既成市街地における防災機能の強化を周辺市街地の整備改善と一体的に行う事業
○公園面積：約1.1ha(摂津市内)
○土地取得：約1.1ha(鉄道・運輸機構から取得)
○事業期間：平成23年度～平成26年度
- 住宅市街地整備事業(都市型居住ゾーンの一部)**
良好な居住環境形成のためのまちづくりコーディネートと民間誘導を行う事業
○土地取得：4.0ha(鉄道・運輸機構、JR貨物から取得)
○事業期間：平成20年度～平成27年度



北大阪健康医療都市(健都)エリアマネジメント組織検討会議

【事務局】吹田市健康医療部 北大阪健康医療都市推進室
〒564-8550 大阪府吹田市泉町1-3-40
TEL.06-6384-2614

【エリアマネジメント組織検討会議メンバー】

国立研究開発法人国立循環器病研究センター／地方独立行政法人市立吹田市民病院／日本貨物鉄道株式会社／西日本旅客鉄道株式会社／吹田市／摂津市／独立行政法人都市再生機構／近鉄不動産株式会社／大和ハウス工業株式会社／名鉄不動産株式会社 <順不同>

健康増進公園 【約2.6ha】

～健康・医療をキーワードとする我が国トップレベルの公園が誕生～

「公園から始まる健康・医療のまちづくり」として、

①自然に健康を「意識」する公園

②「楽しみ」ながら健康になれる公園

③健康のコツが「学べる」公園

をコンセプトとし、国立循環器病研究センター等の協力・監修のもと「健康・医療」をキーワードに市民自ら予防医療を実践できる我が国トップレベルの(仮称)健康増進公園が誕生します。

◆健康増進広場

健康増進広場の特徴は、

予防医療を
実践できる広場

個人・グループ
での健康づくり

運動イベント等
の開催

複数の
ウォーキングコース

の機能を備えた広場。

ここには、広場機能の効果を更に高め、学びと気づきの拠点となる(仮称)健都ライブラリーを配置。健都にある多様な機能を活かした健康づくりや生きがいづくりなど、健都ならではの取り組みで、健康・医療のまちづくりを全国に発信。

◆みどりの広場

いろいろなイベントや運動に利用できる多目的広場。周辺は木々に囲まれ、広場はクローバーや芝で覆われた緑豊かな空間。災害時には一時避難地として、また、かまどベンチや防災トイレ、緊急耐震性貯水槽など防災機能を兼ね備えています。

◆(仮称)健都ライブラリー

市民自ら積極的かつ継続的な健康づくりができる学びや気づきの拠点として、多世代が身近に利用できる図書館が持つ機能を多機能化し、健康・医療をキーワードに機能を集約した施設。図書館機能に加え、カフェや多目的スペース、会議室やウッドデッキ、ゼロ系新幹線などを設置。

高齢者向けウェルネス住宅 【約0.4ha】

～生きがいを持ち、自分らしく安心安全で豊かな生活を送ることができる住宅のモデルケース～

■住宅の3つの特徴

※例示については、「健都2街区高齢者向けウェルネス住宅整備・運営事業者募集要項」、「健都2街区高齢者向けウェルネス住宅整備方針」から抜粋

① 生活習慣病予防や介護予防を特に意識したウェルネス機能

自立層から要介護層まで、様々なライフスタイル・状態の者が、健やかに安心して暮らせる住宅環境を整備します。

◆例えば…

「ユニバーサルデザインへの配慮が図られた施設整備」
「生活習慣病予防や介護予防に資する運動プログラムや栄養プログラムの実施」
「多目的に利用できるコミュニティスペースの設置」

② 地域包括ケアシステム機能(医療・介護の連携した提供等)

介護を中心に、看護や予防、薬剤管理といった様々なサービスを、オーダーメイドで組み合わせる等、居住者の自立を支援し、社会参加につながるサービスを提供します。

◆例えば…

「住宅に導入される医療系及び介護系サービスの事業所と近隣地域の各サービス事業所との連携」
「住宅居住者だけでなく近隣住民への医療系及び介護系サービスなどの提供」

③ 健都内外の関係機関との連携による付加価値機能

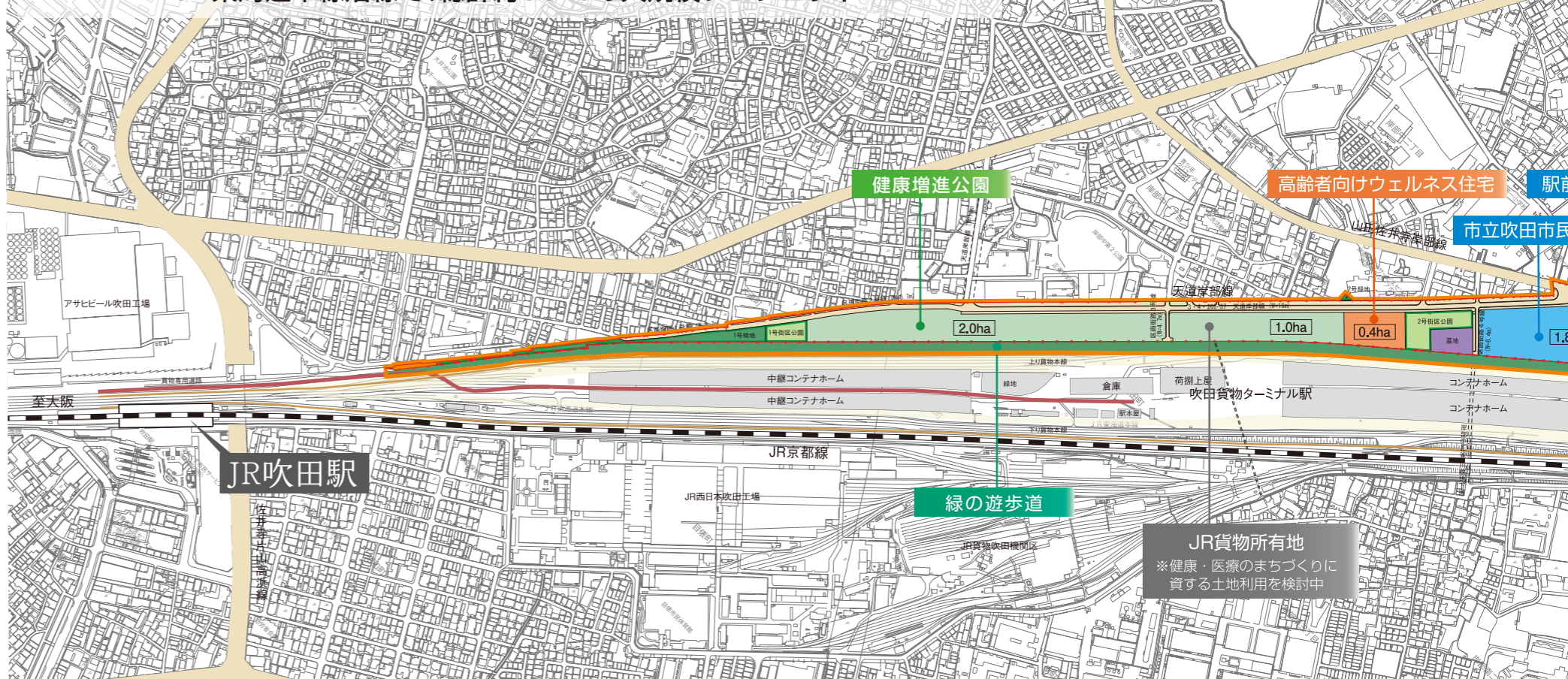
国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院等と多様な連携を図り、高齢者向けウェルネス住宅はもとより、健都全体の付加価値を高める機能を導入します。

◆例えば…

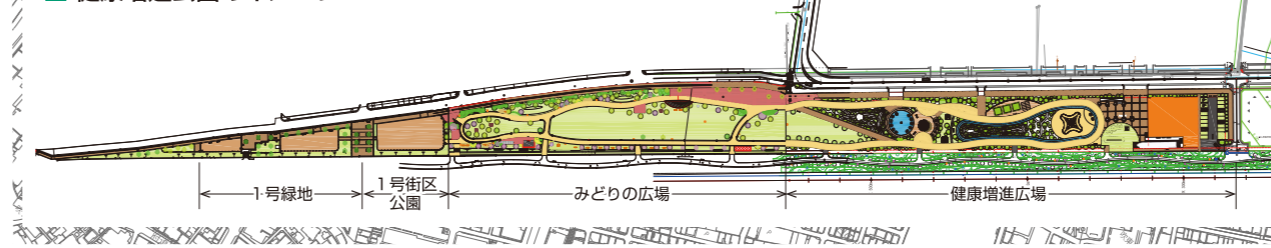
「国立循環器病研究センターからの退院患者が在宅復帰する前にショートステイ等で一時的に受け入れる、当該退院患者へのアフターサポートや連携(経過観察やリハビリ等)」
「健康増進公園や駅前複合商業施設等で実施予定の健康づくり・にぎわい関連事業への参加等を積極的に促す仕掛け」

国際級の医療クラスターへ 北大阪健康医療都市“健都”誕生！

JR東海道本線沿線で、総計約30haの大規模プロジェクト



■健康増進公園のイメージ



■都市計画



緑の遊歩道 【全長約3km】

JR吹田駅からJR千里丘駅まで東西約3km、幅員8～12m(歩行者空間の幅員は3m)の遊歩道です。憩いの場所として、また、ウォーキングや桜などが楽しめる場所になっています。



地方独立行政法人市立吹田市民病院 【約1.8ha】

〈※平成30年度開院予定〉

市立吹田市民病院は、「市民とともに心ある医療を」の基本理念のもと、吹田市の中核病院として急性期医療や救急医療を中心に、公立病院としての役割を担っています。

平成30年度に開院予定の新病院では、隣接する国立循環器病研究センターと連携を図りながら、救急医療やリハビリテーションを充実し、地域に求められる病院を目指します。

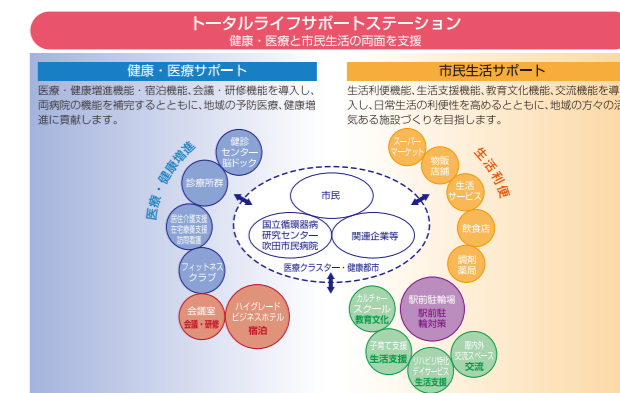


駅前複合施設 【約0.8ha】

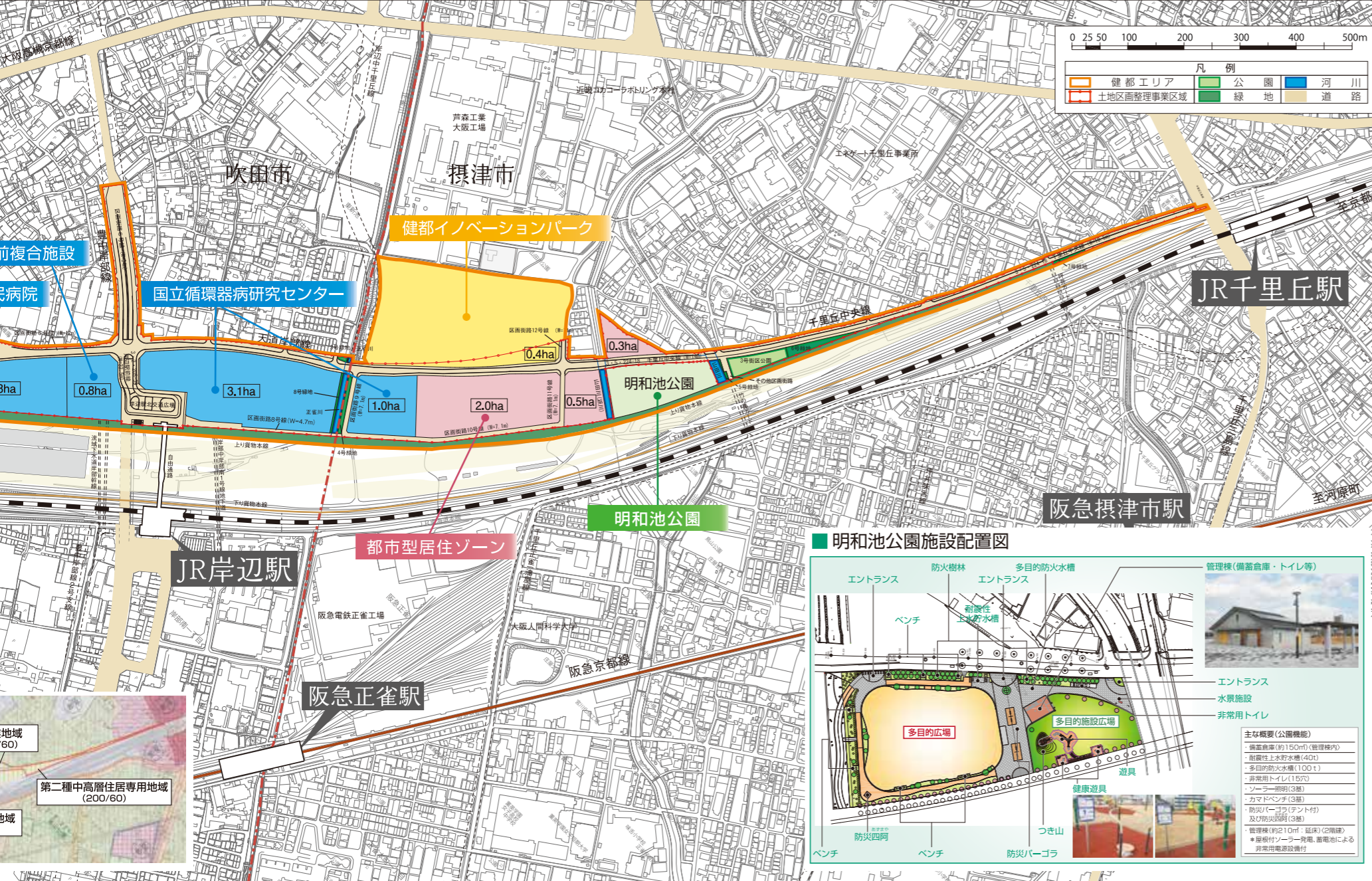
平成27年(2015年)2月にJR西日本が土地譲受事業者として決定されました。

施設のコンセプトとして「トータルライフサポートステーション」を掲げ、予防医療・健康増進機能に資する拠点の形成および、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院の機能補完としての「健康・医療サポート機能」と、周辺住民や健都にお越しになられる方々への利便性の向上として「市民生活サポート機能」を兼ね備えた複合施設とするべく、フィットネスクラブ、医療モール、健診センター、スーパーマーケットを含む物販飲食店、ビジネスホテル等を計画中です。

●施設コンセプト



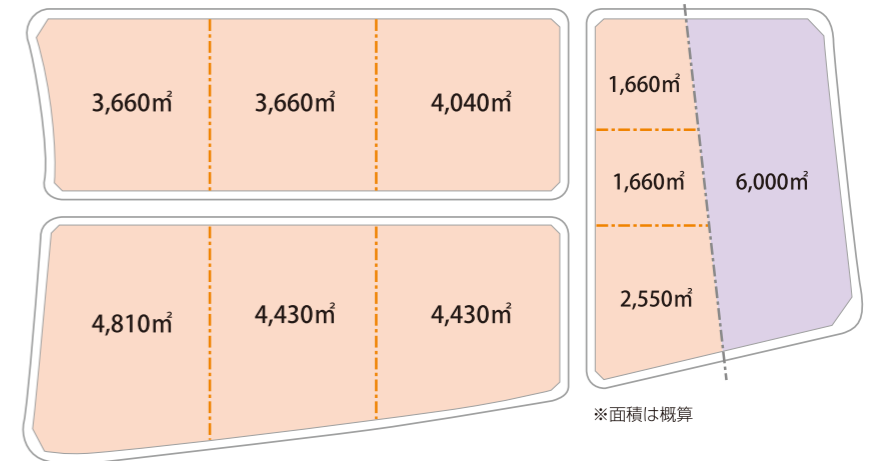
JR西日本グループの展開する様々な生活関連サービスを結集し、快適で健康な暮らしを総合的にサポート



健康イノベーションパーク 【約4.0ha】

～北大阪健康医療都市からイノベーションを創出～
 「健康と医療」をキーワードに、先進的な研究開発を行う企業等の研究施設等を集積させ、国立循環器病研究センターを中心とした複合医療産業拠点の形成を目指しています。

1 画地割案



2 進出事業者募集案

- (1) 事業用地の概要等
- ・全体面積：約40,000㎡
 - ・想定敷地規模：概ね1,500㎡～5,000㎡
- (2) 施設内容
- 以下のいずれかに該当する施設を予定
- ア 医薬品・医療機器・再生医療製品、健康関連製品・サービス、食品関連企業等の研究所又は研究機能を併せ持つ施設
 - イ 大学の産学連携窓口及び研究室
 - ウ その他国循を中心とする医療クラスターの形成に資する施設

※平成28年(2016年)3月の政府関係機関移転基本方針において、健康イノベーションパークを念頭に「国立健康・栄養研究所(東京都新宿区)の全部移転に向けて、移転の詳細や地元の受け入れ体制について、大阪府と厚生労働省・当該機関の間で調整を行い、平成28年度中を目途に成案を得る」とされました。

■ 明和池公園施設配置図



国立研究開発法人国立循環器病研究センター 【約4.1ha】

〈※平成30年度完成予定〉

「病院」「研究所」「研究開発基盤センター」が一体となった国立高度専門医療研究センターとして、循環器疾患の究明と制圧を目指しています。移転後は、オープンイノベーションセンターの設置などにより、企業・大学等との共同研究を一層活性化させます。



都市型居住ゾーン 【約2.8ha】

都市型居住ゾーンは、「多様な世代が暮らすための機能を充実させながら定住の魅力を高め、自然環境にも配慮した新しいまちづくり」を掲げて、「ひと、まち、みどりを育む暮らしの輪」を創出し、人々の暮らしとともに成長するまちを目指しています。
 この都市型居住ゾーンは、中高層住宅を中心とした都市型住宅を計画するとともに、周辺施設等との予防医療や健康増進についての連携等も期待するところと。

■ 「健康」をコンセプトにした大規模集合住宅開発がスタート

都市型居住ゾーンの一部において、近鉄不動産(株)・大和ハウス工業(株)・名鉄不動産(株)の共同事業体による900戸超の大規模マンションプロジェクトが計画されています。防犯・防災・環境等に配慮した「安心安全で快適なまちづくり」、周辺開発地との一体な連携を見据えた「大規模メリットを生かしたまちづくり」、医療クラスターゾーンにふさわしい「健康住宅地」の3つの開発コンセプトを基に計画が進められています。



平成27年8月撮影

明和池公園 【約1.1ha】

平常時に当公園約1.1haには、市民の憩いの場として機能するように、芝生広場、健康遊具、大型遊具、休息施設、水景施設等が整備されています。
 一方、災害時には、避難者を収容する一時避難場所としても機能するよう、広いグラウンド等を確保し、また、災害時に備え、防災機能を備えた様々な設備が公園内に整備されました。この公園名称は、過去、当地において明和池の周辺に形成された集落の遺跡が発見された事と、吹田操車跡地地区のまちづくり基本方針にある「記憶でつながるまち」というテーマを具体化し、過去の記憶を後世に継承していきたいという思いで名づけました。
 また、汽車や枕木をモチーフにした遊具を採用することで、吹田操車跡地という立地上の特徴を表しました。

